

1 学期始業式（4月8日）

3月の離任式ではお世話になった先生方とのお別れがありました。そして、先ほど新任式で、10名の先生方を迎え、いよいよ令和6年度が始まります。明日は入学式があり、皆さんの仲間として新たに115名が加わります。

あらためて、皆さん、それぞれ新しい学年に進級おめでとうございます。

新年度スタートにあたって私から2つ話をします。1つ目は、目標を持って努力や協力をして欲しいということです。辞書を引くと「努力」とは、力を尽くして励むこと、「協力」とは、力を合わせて事に当たることとあります。力を尽くすには、成し遂げたいと思える目標が必要です。力を合わせるには、共通の目標を持つ仲間が必要です。目標がないところには努力も協力も生まれません。

まずは、自分の目標や、好きなこと、得意なことに情熱を注いでください。それを発揮する場面は、一人一人違いますが、ぜひ自分が情熱を注げる場所を見つけ、そして輝いてほしいと思います。

また皆さんは、出雲農林高校という組織（チーム）の一員であります。人にはそれぞれ弱みと強みがあります。昔は、弱みを克服することに重点が置かれていましたが、今は強みをさらに伸ばす方が、組織は活性化するといわれています。友達が、頑張っているとき精一杯協力してあげてください。一人一人が自分の得意な分野で輝いていれば組織としても魅力的であるといえます。そんな出雲農林高校を皆さんの手で作り上げていってほしいと願っています。

目標を立てる際に気を付けることは、いきなり高い目標を掲げるのではなく、自分の力を考え、半歩先を目標にすることが大事で、小さな達成の繰り返しが成功の近道となります。

また、目標達成のためには、逆算思考で計画を立てるといいです。つまり、いつまでに達成するか決め、この時期までにはどういう状態になっている必要があるのか、そしてそうなるためには、いつごろ何をすべきか、という風に逆算思考で考えるのです。是非実践してみてください。

2つ目は『凡事徹底、日々新生』ということです。『凡事徹底』とは、特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。つまり、物事を成し遂げるには、当たり前前のことを当たり前前にできるか、徹底してできるかにかかっているということです。そして『日々新生』とは、当たり前前の中にも新たな価値を見いだす視点を持つという気持ちを表しています。

イチロー選手の名言の中に「小さいことを積み重ねることが、とんでもない所に行くただ一つの道」というのがあります。イチロー選手は高校3年間毎日素振りを続けたそうです。その結果、大リーグという夢の舞台で私たちに多くの感動を与えてくれました。続けることで極めた境地と言えます。「誰にでもできることを誰にもできないほど続ける」そんな姿勢が望まれます。

私が皆さんに『凡事徹底』を心がけていただきたいことは、『時を守り、場を清め、礼を正す』ということです。この言葉は、哲学者森信三氏の言葉で、教育現場はもとより、企業や社会教育など多方面で活用されており、本校でも実践しているところですが、改めて話をさせていただきます。

『時を守り』:これは「遅刻をしない、期日を守る」ということです。定刻までには準備を整え、きたるべき時に備えて心を静めて開始を待つということです。また、決められた期日までに求められた対応を行うということでもあります。時を守る先には、必ず相手があります。自らが時を守ることで、相手を尊重することとなります。

『場を清め』:これは「整理整頓をし、掃除をほどこす」ということです。掃除をすることは「5K」として語られることがあります。5Kとは、「①気づく人になれる、②心を磨く、③謙虚になれる、④感動する心、⑤感謝の心が芽生える」です。つまり、単に身の回りの整理整頓や掃除であっても、他を敬い、奉仕の心につながると考えます。

『礼を正す』:これは「挨拶をする、返事をする」ということです。「挨拶」をすることで人間関係は良好に保たれます。そしてその「挨拶」は率先して他人よりも先に行うことが求められます。相手に聞こえるような大きな声で、さらには相手が気持ちよく受け取ってくれる挨拶こそが、その相手に対する礼節につながります。また、呼ばれたら「はい」と答え、お世話になったのなら「ありがとうございます」と返事をするのもまた重要です。

この3つの言葉に、通じるものは、相手を思いやる、相手を敬う気持ちです。人は一人で生きていけません。誰もが誰かに支えられ、誰もが誰かを支えています。だからこそ、3つの言葉を「感謝」の気持ちをもって具現することが大切となります。

『凡事徹底、日々新生』には、皆さんが日頃を大切に、当たり前前のことを徹底的に行うことの重要さを知り、時間厳守、挨拶、掃除、身の回りの整理整頓など凡事を一つ一つ徹底しようと日々努力することで、毎日落ち着いて勉学に励むと共に、学校内には元気の挨拶の音が響き渡り、校舎内もきれいになっていく。そしてさらに当たり前前の中にも新たな価値を見いだせるようになってもらいたいという願いがこもっています。以上で終わります。